

ことばときこえ No.6

〒104-0033

中央区新川2-13-4

令和7年10月

2学期が始まり1か月が経ちました。夏休みの思い出を子どもたちに聞くと、「お手伝いをした」「旅行に行った」「おじいちゃんおばあちゃんと会った」と、子どもたちの表情は生き生きと輝いていました。新しい体験の中で自信をつけ、ひとまわり大きくなった姿にうれしさを感じます。

秋は、運動会や音楽会、学習発表会など、力を存分に発揮できる季節です。子どもたちの挑戦を保護者の皆さんと一緒に応援していきたいと思えます。

【10月】

1日(水) 都民の日 お休み

13日(月) スポーツの日

22日(水) ことばグループ学習(15:10~)

※ 該当児以外の指導はありません



【11月】

3日(月・祝) 文化の日

17日(月) 保護者会

22日(土) 明正小音楽会

24日(月・祝) 振替休日

25日(火) 明正小音楽会 振替休業日



保護者懇談会のお知らせ

1 日時 令和7年11月17日(月) 10:10~11:30
(10:00 受付開始)

2 場所 明正小学校 ことばときこえの教室

3 内容 「ことばときこえの教室」の活動紹介
保護者同士の情報交換

後日「保護者会のお知らせ」をお渡ししますので、そちらをご覧ください。



指導の延長・退級について



ことばときこえの教室を利用するかどうか、毎年申請してもらっています。今年度も11月に各学校を通して区教育委員会へご提出していただきます。現6年生以外の**全通級児童が対象**となります。令和8年度について10月末~11月に担当者からお話させていただきますのでお心置きください。



手先の発達について



ことばときこえの教室では、日頃から保護者の方々から様々な相談を受けます。ことばや聞こえに関するものの他に、手先の不器用さについての相談も多くあります。手先の不器用さを例に挙げると、鉛筆の持ち方がおかしい、お箸を上手に持つことができず、食べ物をこぼす、はさみが上手に使えない、などです。この手先の不器用さにはいくつもの要因がありますが、今回はその中から「手指をばらばらに動かす力」に注目してみたいと思います。

鉛筆やお箸の持ち方には、「手指をばらばらに動かす力」があるかどうか深く関係しています。この「手指をばらばらに動かす力」とは、親指側と小指側の役割を使い分けられることです。例えば鉛筆では親指・人差し指・中指でつまんで運筆し、薬指や小指は紙の上で支える役割を担います。運動発達の視点で見ると、この手指をばらばらに動かす力を促すために大切なのが赤ちゃん時代の「ハイハイ」です。手のひらで体重を支える動きは手のひらでいろいろな刺激を感じ取る力を高め、親指側と小指側の筋肉をバランスよく発達させます。また、肩の動きを安定させ、後の器用な動きの土台を作っていきます。

もちろん小学生になってからでも遅くはありません。公園のターザンロープや木登り、アスレチック遊具、ボルタリングなど、手のひら全体で体を支える遊びは、手指をばらばらに動かす力を育むチャンスです。楽しみながら取り組むことで、自然と手指の器用さにもつながっていきます。涼しくなってきたこの時期、お子様と公園で汗をかいてはいかがでしょうか。



東京でデフリンピックがあります

11月15日～11月26日（12日間）



デフリンピックとは、デフ+オリンピックのことです。(Deaf)とは英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です。

(東京2025デフリンピック公式ホームページより)

今回は、第1回大会（1294年）から100年目の大会で、東京では初めて開催されます。

参加国は70～80か国・地域で、選手数は約3000人です。東京都、静岡県、福島県など19か所が会場となります。中央区近辺では、東京高速道路及び首都高速道路高速八重洲線の一部でマラソン、日比谷公園・日比谷エリアでオリエンテーリング、有明テニスの森でテニス、など様々な競技が行われます。

競技では、旗やランプなどを使い、審判の合図など「目でわかる工夫」がされています。また、競技中に声援をおくるかわりに、床を踏みならした振動で応援を伝える方法があります。

デフリンピックは、事前申し込みなく、誰でも無料で観戦できます。みなさんも東京で初めてのデフリンピックを参観しませんか。